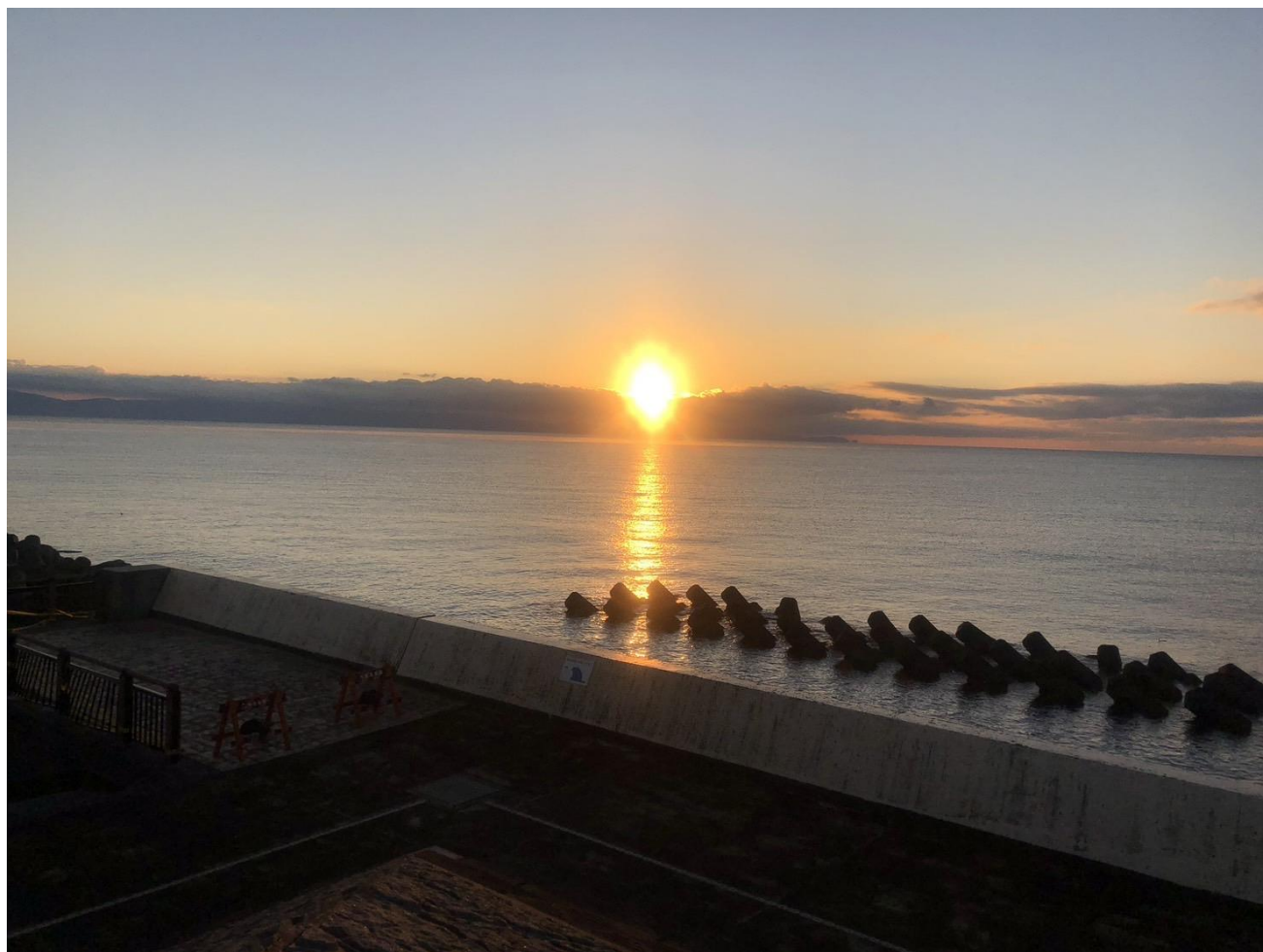


白いろ三もぎの香り



令和6年1月1日に石川県能登地方を震源とした地震が発生しました。亡くなられた方々には衷心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。被災地の皆様の安全と一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

ニュースレターの発行が遅くなってしまい 皆さまに 御心配おかけして申し訳ありませんでした。ダルクの仲間たち毎日回復プログラムを淡々と実践していっています。流行り風邪などにもうつる人もほとんど無く市販薬乱用の言い訳も出来ずに、クリーンな薬物を使わない日々が続いています・笑 「風邪かなと思ったら？早めのパブロン」ってコマーシャルが以前ありましたが、思う間も無く、ツマミの柿の種を食べるように錠剤をボリボリ

頬張って過剰摂取したり咳止め液を健康ドリンクみたいにゴクゴク何本も飲んだりし続け、入院からダルクにつながる仲間もたくさんいます。問題になっているト一横キッズやドン下〜グリ下キッズと呼ばれる少年少女達のニュースをよく耳にします…とても心配です、薬物離脱プログラムを行なっている女子学園にも、複雑な家庭環境、寂しさや不安から路上に仲間を求め保護された子たちに回復メッセージをイソハタ枝里子は毎週会いに行きます。私も少年院の方に通っていますが、最近は大麻を使う若い世代が特に多くなりました、話を聞いていると、まったく害が無く安全な物なんだと…使う理由や言い訳がたくさんです、まるで自分を見ているようで…ほくそえむ 鏡笑い… 数年後ダルクに来たりする前になんとか軌道修正を 希望や目標が持てればと考えます。みなさんの意見や提案も頂きたく思います。学校講演メッセージなども行なっていますのでご要望あれば伺います。 東京は2月に入り雪が積もって交通が麻痺したり、数日後には桜が咲くくらいの暖かい日が続いたり日々の変化複雑です、皆さまどうかお体に気を付けてお過ごしください。 Isamu



キャンプ振り返って

今回キャンプを用意する担当でしたダックです。用意とは言っても一人ではなく、たくさんの仲間が関わり助け合い成功へと導かれたと思います。少しキャンプ用意の話させていただこうとおもいます。

キャンプ開催は9月でした。用意は半年前くらいから考えましたが、まあ先のこととタカをくくりのんびりと用意を始めました。前回のキャンプ資料を出そうとしたところどこにもなく、だれも持っていない、前回キャンセルになった実際買っていない予定資料などは出てきたけど、購入した物品の資料はなく困りました。

当初キャンプ開催も8月にしようかと思いました。予約は三ヶ月前で5月1日に昼にキャンプ場にかけたところ二時間遅れで8月は予約いっぱいでした。

キャンプ準備用にライングループもつくりました。ZOOMで会議もしました。オープンスピーカーミーティング（以後OSM）をしようということで、だれが話すか、司会、どこのダルクが参加するか、買い出しなど決めることは多かったですが仲間の助けで乗り越えていきました。

どこのダルクがいつ来ていつ帰るか、入れ替わりなのかも結構ぎりぎりまであやふやでした。日帰りである仲間もいて何人参加になるのかもおおよそでした。日帰り参加にスルガダルクの仲間の保護司さんがいてOSM見学も参加してもらえました。

何時ころ到着して初日のテント張りとかレーをどうするかその後のOSMそして温泉など、時間配分が難しくOSM会場は長めに借りました。

役所用のチラシに関しては印刷の大きさが上手くなく、やっちゃったと思いました。次回考慮していきます。

スルガダルクの仲間も参加に問題があり、さそってもしきりに行かないという仲間、急に参加を辞退する仲間などもいました。なんとか説得したり。ダルクだな〜と。

散々頭を悩ましていたところに大きな壁が現れました。仲間が状態良くなくかなりまいってるようでした。すごく動いてくれる仲間だったので困りました。心配もしました。と同時に急に話が進み、初日の動きを変えるというのが自分に知らされず決まっていき、今までの用意は何をしていたのかと腹が立ちライングループも抜ける来年からは関わらないとすねました。しかし、仲間とのちに話ができて自分の気持ちを聞いてもらい、また気持ちを取り直しました。仲間へ感謝です。手伝ってくれる仲間がいなくては何もできないと思いました。運転や買い出しから雑品用意、当日の食事用意、テント設営、片付け

等皆さまお疲れさまでした。私自身キャンプの間で仲間と話ができたり、OSMの仲間の話が聞けてとても楽しめました。

OSMもスピーカー者の変更があったりで急展開があり、あたふたしましたが対応できました。今回のキャンプをなんとか無事終わることができホッとしました。前前回にキャンプ場からのクレームがありひやひやしてましたが、今回何も問題なく次回にも役に立てていけると主思います。

焼肉を食べている仲間を見て、皆喜んでるから成功ってことだと思います。来年のキャンプをいいものにできるように今回のミスイクから学んでいこうと思います。

サーフィンも仲間と行かせてもらいました。仲間との良いフェロシップになりました。キャンプ全体でフェロシップたっぷりのキャンプになってほしいと思います。肉が食べたいだけの仲間もいいと思いますが。仲間に感謝してまた皆で開催したいです。感謝。 ダック



ギャンブル狂騒曲

ヒデ

私はギャンブル依存症ということで浜松につながってから、一年7カ月という月日がたちました。自分が最初にやったのがパチンコでした、まだ高校一年の夏休み、父親と二人で毎日行ったのが始まりだったと思います。当時、今から三十年以上前のパチンコはどのパチンコ店も羽根物（飛行機台）と呼ばれるものが支流で三千発～四千発でれば終了という店がほとんどで、自分がギャンブルをしているという感覚はいっさいなく、遊びながら出れば七千円から一万円稼げるので、アルバイトするよりもずっと良かったので、のめりこみのキッカケになりました。

当時、高校生のバイトの時給が確か五百円だったと思いますが、夏休みの間だけで二十万ものお金を稼いでしまったものですから、自分がパチンコにのめり込んでいくキッカケになったと思います。

当然学校の勉強に実がはいらなくなり、専門学校に進学したのですが、三か月で中退し毎日パチンコ店にかよう日々が始まり、そんな生活が二年～三年つづいたと思います。

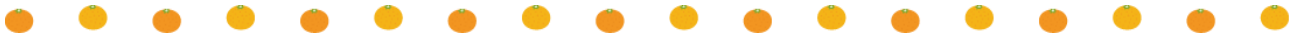
そんな生活もそう長くは続くはずがないのは、頭では分かっていたつもりでしたが、今考えるとパチンコ、パチスロが遊びからギャンブルに変化したのが、自分が21～22歳のころだったと思います。

パチンコもパチスロも勝つときも十万円、うまくいったときは二十万円ほど勝ったときもありましたが負ける時も、当然一日で五万円～十万円負けることもあり、自分が始めたころのパチンコ、パチスロとは異なるものと、遊びとは言えないものへと変化していったのです。

当然自分の金銭感覚というのはギャンブルをやらない人とは明らかに違い派手になり、ギャンブルの負けはギャンブルで取り返せばよいという考えになり以後。浜松ダルクにつながるまで三年間ギャンブルをやめる事ができませんでした。

今、浜松ダルクに繋がって思うことは、ギャンブルとはそのお金がなくなっても自分の生活が困らないお金でやるものでありまして、借金してまでやってはいけなし、生活費でもやってはいけなし、今ではそう思っています。





お願い

長年大事に使っていた、車両の1台が壊れて 廃車になりました。使用していない車、免許返納などで 乗らなくなった車が有りましたら、ご連絡ください。宜しく願いいたします。

ホギ一



2023 年 7 月

- ・横浜刑務所 特別改善指導
- ・横須賀刑務所 特別改善指導
- ・教会ボランティア お墓清掃
- ・静岡刑務所 特別改善指導
- ・静岡教会 お墓そうじ
- ・静岡県精神保健センター リカバリー
- ・清水看護学校 実習協力
- ・静岡保護観察所
- ・浜松市立都田中学校 講演（薬学）
- ・常葉大学付属椿中学校 講演（薬学）
- ・課外プログラム（温泉）
- ・中原自治会ボランティア（地域ゴミ出し当番）
- ・静岡刑務所（身元引受人会）

2023 年 8 月

- ・中原自治会ボランティア ゴミ当番
- ・静岡刑務所 特別改善指導
- ・静岡教会 お墓そうじ
- ・横須賀刑務所 特別改善指導
- ・静岡県精神保健センター リハビリミーティング
- ・静岡保護観察所 集団処遇
- ・横浜刑務所（特別改善指導）
- ・愛光学園（特別改善指導）
- ・横浜刑務所（特別改善指導）
- ・課外プログラム（温泉）
- ・中原自治会ボランティア（地域ゴミ出し当番）

2023 年 11 月

- ・静岡県立岩田南高等学校（講演）
- ・静岡県依存対策連絡委員会（参加）
- ・JCCA 沖縄 参加
- ・静岡県立西高等学校（講演）
- ・清水国際高等学校（講演）
- ・課外プログラム（温泉）
- ・教会ボランティア
- ・課外プログラム（温泉）
- ・久里浜少年院 特別改善指導

2023 年 9 月

- ・中原自治会ボランティア ゴミ当番
- ・静岡刑務所 特別改善指導
- ・横須賀刑務所 特別改善指導
- ・横浜刑務所 特別改善指導
- ・静岡保護観察所（集団処遇）
- ・静岡教会 お墓そうじ
- ・静岡県精神保健センター リハビリミーティング
- ・愛光学園（特別改善指導）
- ・課外プログラム（温泉）
- ・沖縄ダルクフォーラム
- ・清水看護学校 実習
- ・ダルク合同宿泊研修会
- ・依存症問題従事者研修
- ・静岡県精神保健福祉センター

2023 年 10 月

- ・中原自治会ボランティア ゴミ当番
- ・駿河刑務所 特別改善指導
- ・駿河教会 お墓そうじ
- ・横須賀刑務所 特別改善指導
- ・静岡県精神保健センター リカバリーミーティング
- ・静岡県立岩田南高等学校（講演）
- ・静岡県依存対策連絡委員会 参加
- ・JCCA 沖縄 参加
- ・静岡県立西高等学校（講演）
- ・清水国際高等学校（講演）

2023 年 12 月

- ・久里浜少年院 特別改善指導
- ・静岡教会ボランティア お墓そうじ
- ・横浜刑務所 特別改善指導
- ・横須賀刑務所 特別改善指導
- ・静岡県精神保健福祉センター リカバリーミーティング
- ・愛光学園 薬学講座 講演
- ・浜松市立細江中学校 薬学講演
- ・浜松市精神保健センター 女性の集い
- ・SARS 家族会
- ・静岡保護観察所 処遇協力
- ・ヨガ療法プログラム
- ・再乱防止支援者育成講座 講演
- ・ダルク年越しワークショップ



支援者の皆様へ

スルガダルクへの献金・献品のご協力、誠に有難うございました。
皆様からの献金・献品は、施設の運営等、大切に使用させていただきます。
これからも、仲間の回復へのご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。

前号から令和6年 2月 10日まで 献金をしていただきました皆様

安藤秦子 様 徳永雄二 様 横井俊昭 様 田川光明 様 横田昇 様
芦川 恵美子 様 カトリック静岡教会墓地管理委員会 様 ビリーブ家族会 様
伏見次昭 様 浜松市北区更生保護女性会三ヶ日支部 様 静岡カリタス会 様
その他匿名希望の皆様

献品をしていただきました皆様

中川勉 様 横田昇 様 更生保護女性会 様 足立 様 保護司 島田 様 南
区更生保護女性会 様 菊川地区更生保護女性会 様 八木一枝 様 中区更生保護女性会 様
館山ダルク代表 十枝晃太郎 様 富士市更生保護女性会三ヶ日支部 様
その他匿名希望の皆様

すべてチェックしておりますが記入漏れの方がいらっしゃいましたら、大変申し訳ありませんがご連絡ください。発送作業簡素化のため、郵便振替用紙は皆様に同封させていただいております。ご理解の程お願いいたします。また、『匿名希望』の方は、その旨を通信欄にその都度お書きくださるようお願いいたします。

駿河ダルク支援会（代表 ミッシェル ゴーチェ）

スルガダルク（代表 五十畑 修）

からのお知らせです。

**ダルク職員 として退職しました、泉谷 雅 氏に退職金を 昨年8月に 出金しました
遅くなりましたが、この場を借りて報告致します。**

スルガダルクよりご支援・ご協力をお願い

スルガダルクは、運営がギリギリの状態です。運営資金のご協力をお願いいたします。また、お米、日用品、生活雑貨（石鹸、シャンプー、洗剤、タオル他）など、ご寄付いただける方スルガダルクまでご連絡ください。よろしくお願いいたします

いつもスルガダルクの活動を支えて下さっている皆様、本当にありがとうございます！

編集人 スルガダルク 編集事務局

事務所 〒422-8058 静岡市駿河区中原 931-1 3F

TEL/FAX 054-283-1925

E-mail: 054suruga@darc-japan.com

ホームページ: <http://darc.floppy.jp/suruga>

郵便振替 口座番号 駿河ダルク 00850-8-149414



スルガ DARC



浜松 DARC



日本 DARC 神奈川